

## 文部科学大臣杯 第67回全国選抜少年剣道大会（水戸大会） 愛知矢田道場が全国ベスト12入り 第3コート優勝の快挙

3月29日、アダストリアみとアリーナにて、全国の少年剣士が憧れる舞台「文部科学大臣杯 第67回全国選抜少年剣道大会」が開催された。352チームが出場する大規模な大会で、愛知矢田道場は見事ベスト12に進出。さらに第3コートで優勝し、優秀賞を受賞した。西尾市としては17年ぶりとなる快挙である。

大会は12ブロックに分かれてのトーナメント方式。愛知矢田道場は初戦から接戦が続いたが、選手たちは最後まであきらめず、チームワークを武器に勝ち進んだ。

また、個人表彰では、館長賞に福間菜子（6年）、個人優秀選手に渡邊創介（6年）が選出され、日頃の努力が大舞台で輝いた。

### ■ 試合結果

回戦	スコア	対戦相手
1回戦	4-1	横堀剣道スポーツ少年団（茨城）
2回戦	3-1	山城剣友会（山梨）
3回戦	2-0	新十津川尚武会（北海道）
4回戦	2-1	報徳絆会（東京）
5回戦	3-0	柏武会（千葉）※第3コート優勝
6回戦	0-2	勝平道場（秋田）

### ■ 出場選手

先鋒 村田 和架奈（矢田小5年）  
次鋒 阪本 尚惟（矢田小6年）  
中堅 福間 菜子（矢田小6年）  
副将 伊澤 呼多朗（矢田小5年）  
大将 渡邊 創介（矢田小6年）  
監督 福間 淳矢

子どもたちの真剣なまなざしと、仲間を信じて戦う姿が光った水戸大会。今回の経験を胸に、さらなる成長が期待される。